

病院職場における看護職のウェルビーイング支援モデル事業  
病院職場におけるウェルビーイング支援モデル事業実践報告会開催要領

1. ねらい

新潟県看護協会では重点目標に「看護職が働き続けられる勤務環境づくりの推進」を掲げ職場環境の改善に取り組んできた。しかし、生産年齢人口が減少する中、看護の力を維持していくためには、看護職のやりがいをお大切にして定着を図ることが今後ますます重要になる。「やりがい」の基盤となるのは、看護職自身がウェルビーイングを意識し、自身の体を知り、擁護しながら働き続けられることにあると考える。

そのため、看護職員が年代による心身の変化と上手に付き合い、また看護管理者がそれを理解し、職場で健康維持・増進できるシステムを構築することが求められる。

職員、看護管理者双方ともにその意識を醸成させ、それぞれにできることを実践していくための解決策を各職場で自立的に考える一助とする。

2. 対象

会員施設看護管理者、職員の健康管理担当者等 90名

3. 日時

令和8年7月24日（金）13:30 から 15:15 まで Zoom ミーティングによるライブ配信

4. 内容

13:10～	受付（入室）開始
13:30	開会 あいさつ
13:35 15分	事業説明 担当：新潟県看護協会 常務理事 山田 秀子
13:50 50分	実践報告 新潟大学医歯学総合病院 看護部長 團原 一恵 済生会新潟県央基幹病院 看護部課長補佐 吉森 容子 質疑
14:40 30分	情報提供 新潟県の取り組み「女性の健康支援と健康経営推進企業について」 担当：新潟県福祉保健部健康づくり支援課 参事・課長補佐 平岡 弘子
15:15	閉会

5. 申込期間 令和8年6月15日（月）～7月10日（金）

6. 参加料 無料

7. 申 込 研修申込システム manaable (マナブル) よりお申込みください。

\*研修申込システムのご利用は、manaable (マナブル) の個人登録が必要です。

## 8. 申込時の注意点

- ・参加は全て「ZOOM」による参加になります。
- ・原則1人1台のパソコンを利用して、施設または自宅で参加してください。
- ・環境が整わない場合には、パソコン1台で複数名の参加を可としますが、参加される方全ての申込みが必要です。また、その際備考欄に「1台で〇名参加」と入力してください。
- ・ZOOMの基本操作が必要になりますので、事前に必ず新潟県看護協会 HP の「オンライン研修ガイド」をご確認ください。

## 9. その他

- ・当日は、受講画面の「出席」ボタンよりご参加ください。ZOOMアプリ起動後、ご自身のZOOM上のお名前の前に、必ずMBから始まるマナブルID「MB-××××××」を入力してください。
- ・パソコン1台で複数名参加される場合は、受講者すべてのIDを入力してください。
- ・報告会の資料は、7月15日頃にマナブル上にアップロードします。事前に出力等して、お手元にご用意ください。